

第三者評価結果シート（母子生活支援施設）

種別	母子生活支援施設
----	----------

①第三者評価機関名

特定非営利活動法人 きょうと福祉ネットワーク一期一会

②評価調査者研修修了番号

SK18140

③施設名等

名称：	母子生活支援施設 「ヴェインテ」
施設長氏名：	児島太郎
定員：	20世帯
所在地(都道府県)：	京都府
所在地(市町村以下)：	京都府京都市山科区大塚南溝町24-2
T E L：	075-583-6777
U R L：	http://www.veinte.jp/
【施設の概要】	
開設年月日	2007/9/1
経営法人・設置主体（法人名等）：	社会福祉法人 福朗
職員数 常勤職員：	10名
職員数 非常勤職員：	2名
専門職員の名称（ア）	母子指導員
上記専門職員の人数：	4名
専門職員の名称（イ）	児童指導員
上記専門職員の人数：	3名
専門職員の名称（ウ）	
上記専門職員の人数：	名
専門職員の名称（エ）	
上記専門職員の人数：	名
専門職員の名称（オ）	
上記専門職員の人数：	名
専門職員の名称（カ）	
上記専門職員の人数：	名
施設設備の概要（ア）居室数：	
施設設備の概要（イ）設備等：	
施設設備の概要（ウ）：	
施設設備の概要（エ）：	

④理念・基本方針

<ul style="list-style-type: none"> ・質の高い福祉支援・サービスを提供し、利用者やその家族の満足を得る支援を目指します。 ・地域とのかかわりを深めるとともに、地域社会の一員として地域福祉の向上に貢献し、地域に信頼され、支持される支援を目指します。 ・職員の育成に努め、すべての職員にとって、誇りと満足のある職場となるべく努めます。

⑤施設の特徴的な取組

様々な事業を抱える母子に対し、安心して生活できる場所を提供し、母子一人ひとりのニーズに沿った支援を実施しています。

⑥第三者評価の受審状況

評価実施期間（ア）契約日（開始日）	2017/11/15
評価実施期間（イ）評価結果確定日	2018/5/16
受審回数	1回
前回の受審時期	平成26年度

⑦総評

ウェインテは2007年に開設した定員20世帯の母子生活支援施設です。地下鉄東野駅から徒歩10分の住宅街にあり、母子にとって生活しやすい環境の中にあります。施設はバリアフリー構造となっており、一般のハイツのような住環境になっていません。

主な事業として母子生活支援施設のほかに子育て支援短期利用事業、子育てアドバイス事業など地域に向けた事業も行っています。母子の生活の安定のために個別対応を含めた専門的支援として養育支援、就労支援、心理的支援等を行っています。

また、母親自治会や子ども会等を通じて主体性を尊重した取り組みを実施しています。今後、母子生活支援施設としての役割を果たしていけるとともに地域の拠点としても、ますます発展していくことを期待します。

◆特に評価が高い点

◇事業計画の策定

施設経営や運営の数年後の目標を記載した中・長期計画（28～33年度）を策定して、必要に応じて見直しを行っています。また、中長期計画の内容を踏まえ、単年度事業計画が策定されており、毎年報告書を作成しています。単年度事業計画は、具体的な評価を行える内容となっています。策定に当たっては、母子支援会議や児童支援会議、職員会議等で課題を毎年の事業計画を策定し、職員会議で読み合わせをし、職員間の理解を深めています。

◇地域との交流、地域貢献

地域とのかかわりについては中期計画に明記しています。町内会にも加入し、利用者の方々が町内会行事・お祭り・運動会・ラジオ体操等様々な地域行事に参加できるよう支援しています。施設の機能還元として地域に向けて町内会の会合にも開放していたり、学習支援を週1回、共有スペースを開放して実施しています。

また、施設の専門性を活かして、地域の方を対象にした24時間電話やメールによる相談や食材提供や、学習支援も行っています。子育て支援短期利用事業や放課後当デイサービス事業も実施しており、地域の福祉ニーズの把握も行っています。

◇母親と子どもの意向や主体性の配慮

母親に対しては「母親自治会」を実施して、役割を持つことにより施設での生活改善に向けた主体的な取り組みが行えるよう支援しています。子どもは「子ども会」において自分たちの生活について話し合い施設へ要望を出すなど、主体的な取り組みができるよう支援しています。

◆改善が求められる点

◇総合的な人事管理が行われている

人事管理体制については、できるかぎり社会福祉士や保育士の有資格者を優先的に採用して、年1回の職員面談で、職員の就業状況や体調の把握を行っています。しかし、人事管理に関する方針が確立されておらず、人事考課も実施されていませんでした。

◇職員一人ひとりの育成に向けた取り組みを行っている

期待する職員像については「福朗が求める人材」に明記されており、職員一人ひとりが自主的に年度初めに目標を立て、それをもとに施設長の面談を行っています。しかし、目標の達成度や進捗状況などの確認のための中間面接が行われていませんでした。い。

◇性教育等にかかる子どもへの支援

子どもに気になる言動が見られたり、母親から子どもへの対応方法について相談があった場合は職員が個別に対応しています。

しかし、年齢、発達段階に応じた性教育の計画や、正しい知識を得るための学習会等の支援は行われていませんでした。

◇マニュアルの見直し

各種マニュアルは一定整備されていましたが「記録の書き方マニュアル」や「感染症マニュアル」等の定期的な見直しができていませんでした。マニュアル一覧表を作成して改めて点検されることをされてはいかがでしょうか。

⑧第三者評価結果に対する施設のコメント

今回2回目の第三者評価を受診し、毎年の自己評価や前回の受診の経験もあり、スムーズに受診を行うことができました。また、前回と同様自己評価を通して、職員間で支援について話し合う機会が多く持てました。機会を持つことで、他の職員の支援に対する考え方や思いに気付くことが出来ました。施設や職員間にとってとても良かったと思います。また今回の受診では、前回からの改善点をきちんと評価して頂けた部分と、前回と同様に施設として取り組んでいること・今後取り組む必要があることが明確になりました。明確になることで、施設の現状や課題を施設全体で共有でき職員間でも改善点に対しての意識づけにもなりました。今後、改善点や評価機関の方々から助言頂いた内容を検討して、支援やサービスの質の向上に努め、より良い施設を目指し職員間で検討を重ねながら取り組んでいきたいと思っています。

⑥第三者評価結果（別紙）

（別紙）

第三者評価結果（母子生活支援施設）
 共通評価基準（45項目）Ⅰ 支援の基本方針と組織
 1 理念・基本方針

(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。		第三者 評価結 果
①	1 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	a
	<input type="checkbox"/> 理念、基本方針が文書（事業計画等の法人・施設内の文書や広報誌、パンフレット、ホームページ等）に記載されている。	○
	<input type="checkbox"/> 理念は、法人・施設が実施する支援の内容や特性を踏まえた法人・施設の使命や目指す方向、考え方を読み取ることができる。	○
	<input type="checkbox"/> 基本方針は、法人の理念との整合性が確保されているとともに、職員の行動規範となるよう具体的な内容となっている。	○
	<input type="checkbox"/> 理念や基本方針は、会議や研修会での説明、会議での協議等をもって、職員への周知が図られている。	○
	<input type="checkbox"/> 理念や基本方針は、わかりやすく説明した資料を作成するなどの工夫がなされ、母親と子どもへの周知が図られている。	○
	<input type="checkbox"/> 理念や基本方針の周知状況を確認し、継続的な取組を行っている。	○
【コメント】		
○運営理念や基本方針を明文化し、ホームページやパンフレットに掲載している。職員には年度初めの職員会議で説明をしている。また、利用者には「ヴェインテの暮らし」をもとに母親自治会等で説明するとともに配布している。		

2 経営状況の把握

(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		第三者 評価結 果
①	2 施設経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	a
	<input type="checkbox"/> 社会福祉事業全体の動向について、具体的に把握し分析している。	○
	<input type="checkbox"/> 地域の各種福祉計画の策定動向と内容を把握し分析している。	○
	<input type="checkbox"/> 母親と子どもの数・母親と子ども像等、支援のニーズ、潜在的に支援を必要とする母親と子どもに関するデータを収集するなど、法人・施設が位置する地域での特徴・変化等の経営環境や課題を把握し分析している。	○
	<input type="checkbox"/> 定期的に支援のコスト分析や施設入所を必要とする母親と子どもの推移、利用率等の分析を行っている。	○
【コメント】		
○施設長は全国母子生活支援施設協議会や京都母子生活支援施設協議会、山科区の子ども連絡会議等の会議や研修会に参加して、施設運営を取り巻く環境把握や社会的養護の動向把握に努めている。毎月利用率等のデータ把握をし、職員にも閲覧をしている。		

②	3 経営課題を明確にし、具体的な取組を進めている。	a
	<input type="checkbox"/> 経営環境や支援の内容、組織体制や設備の整備、職員体制、人材育成、財務状況等の現状分析にもとづき、具体的な課題や問題点を明らかにしている。	○
	<input type="checkbox"/> 経営状況や改善すべき課題について、役員(理事・監事等)間での共有がなされている。	○
	<input type="checkbox"/> 経営状況や改善すべき課題について、職員に周知している。	○
	<input type="checkbox"/> 経営課題の解決・改善に向けて具体的な取組が進められている。	○

【コメント】

法人中長期計画（H28年～33年）に改善すべき経営課題等をおかけ、役員間での共有や職員への周知をしている。また、課題分析に基づき、具体的な取り組みとして業務内容のスリム化等に取り組んでいる。

3 事業計画の策定

(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。	第三者 評価結果	
①	4 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	a
	<input type="checkbox"/> 中・長期計画において、理念や基本方針の実現に向けた目標(ビジョン)を明確にしている。	○
	<input type="checkbox"/> 中・長期計画は、経営課題や問題点の解決・改善に向けた具体的な内容になっている。	○
	<input type="checkbox"/> 中・長期計画は、数値目標や具体的な成果等を設定することなどにより、実施状況の評価を行える内容となっている。	○
	<input type="checkbox"/> 中・長期計画は必要に応じて見直しを行っている。	○

【コメント】

施設経営や運営の数年後の目標を記載した中・長期計画（28～33年度）を策定し、必要に応じて見直しを行っている。また、毎年報告書を作成するとともに次年度に反映している。

②	5 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	a
	<input type="checkbox"/> 単年度の計画には、中・長期計画の内容を反映した単年度における事業内容が具体的に示されている。	○
	<input type="checkbox"/> 単年度の事業計画は、実行可能な具体的な内容となっている。	○
	<input type="checkbox"/> 単年度の事業計画は、単なる「行事計画」になっていない。	○
	<input type="checkbox"/> 単年度の事業計画は、数値目標や具体的な成果等を設定することなどにより、実施状況の評価を行える内容となっている。	○

【コメント】

中長期計画の内容を踏まえ、単年度事業計画が策定されている。単年度事業計画は、具体的な評価を行える内容となっている。

(2) 事業計画が適切に策定されている。		
①	6 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	a
	<input type="checkbox"/> 事業計画が、職員等の参画や意見の集約・反映のもとで策定されている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 計画期間中において、事業計画の実施状況が、あらかじめ定められた時期、手順にもとづいて把握されている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 事業計画が、あらかじめ定められた時期、手順にもとづいて評価されている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 評価の結果にもとづいて事業計画の見直しを行っている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 事業計画が、職員に周知(会議や研修会における説明等)されており、理解を促すための取組を行っている。	<input type="checkbox"/>
【コメント】		
母子支援会議や児童支援会議、職員会議等で課題を話合っており、毎年の事業計画を策定し、職員会議で読み合わせをし、職員間の理解を深めている。また、年度末に単年度計画の振り返りを行い、次年度に反映させている。		

②	7 事業計画は、母親と子どもに周知され、理解を促している。	b
	<input type="checkbox"/> 事業計画の主な内容が、母親と子どもに周知(配布、掲示、説明等)されている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 事業計画の主な内容を子ども会や母親会等で説明している。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 事業計画の主な内容を分かりやすく説明した資料を作成するなどによって、母親と子どもがより理解しやすいような工夫を行っている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 事業計画については、母親と子どもの参加を促す観点から周知、説明の工夫を行っている。	<input type="checkbox"/>
【コメント】		
母親には母親自治会を通じて説明を行っているが、配布することはできていない。また、子どもに対しても子供会での説明等を行っているが、わかりやすい資料等の作成はできていない。		

4 支援の質の向上への組織的・計画的な取組

(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。		第三者 評価結果
①	8 支援の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	a
	<input type="checkbox"/> 組織的にPDCAサイクルにもとづく支援の質の向上に関する取組を実施している。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 支援の内容について組織的に評価(C:Check)を行う体制が整備されている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 定められた評価基準にもとづいて、年に1回以上自己評価を行うとともに、第三者評価等を定期的に受審している。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 評価結果を分析・検討する場が、施設として位置づけられ実行されている。	<input type="checkbox"/>
【コメント】		
自立支援計画を立てPDCAに基づく取り組みを行っている。外部講師による施設内研修の実施や、児童担当・母子担当職員がグループスーパービジョンを受ける取り組みなど、職員のスキルアップに向けて施設全体で取り組まれている。		

②	9 評価結果にもとづき施設として取り組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	a
	<input type="checkbox"/> 評価結果を分析した結果やそれにもとづく課題が文書化されている。	○
	<input type="checkbox"/> 職員間で課題の共有化が図られている。	○
	<input type="checkbox"/> 評価結果から明確になった課題について、職員の参画のもとで改善策や改善計画を策定する仕組みがある。	○
	<input type="checkbox"/> 評価結果にもとづく改善の取組を計画的に行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 改善策や改善の実施状況の評価を実施するとともに、必要に応じて改善計画の見直しを行っている。	○

【コメント】

毎年、自己評価を行うとともに3年に1度、第三者評価を受診している。評価結果から明確になった課題について改善の取り組みを職員参画のもとで行っている。評価結果に基づく改善の取り組みとして中長期計画の策定や地域支援の取り組みなどに つなげている。

II 施設の運営管理

1 施設長の責任とリーダーシップ

(1) 施設長の責任が明確にされている。		第三者 評価結果
①	10 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	a
	<input type="checkbox"/> 施設長は、自らの施設の経営・管理に関する方針と取組を明確にしている。	○
	<input type="checkbox"/> 施設長は、自らの役割と責任について、施設内の広報誌等に掲載し表明している。	○
	<input type="checkbox"/> 施設長は、自らの役割と責任を含む職務分掌等について、文書化するとともに、会議や研修において表明し周知が図られている。	○
	<input type="checkbox"/> 平常時のみならず、有事(災害、事故等)における施設長の役割と責任について、不在時の権限委任等を含め明確化されている。	○

【コメント】

○施設長の役割や責任については、施設管理担当一覧、組織図にて明文化して職員に周知している。また、有事における施設長の役割と責任、不在時の権限委任等を明確にしている。

②	11 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	a
	<input type="checkbox"/> 施設長は、遵守すべき法令等を十分に理解しており、利害関係者(取引事業者、行政関係者等)との適正な関係を保持している。	○
	<input type="checkbox"/> 施設長は、法令遵守の観点での経営に関する研修や勉強会に参加している。	○
	<input type="checkbox"/> 施設長は、環境への配慮等も含む幅広い分野について遵守すべき法令等を把握し、取組を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 施設長は、職員に対して遵守すべき法令等を周知し、また遵守するための具体的な取組を行っている。	○

【コメント】

施設長は研修や勉強会に参加して専門性の向上に努めるとともに、職員に対して職員会議等を通じて法令順守の徹底や、虐待防止の研修、セルフチェックの実施等を行っている。関係法令のリスト化を行い、職員が閲覧できるようにしている。

(2) 施設長のリーダーシップが発揮されている。		
①	12 支援の質の向上に意欲をもちその取組に指導力を発揮している。	a
	<input type="checkbox"/> 施設長は、支援の質の現状について定期的、継続的に評価・分析を行っている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 施設長は、支援の質に関する課題を把握し、改善のための具体的な取組を明示して指導力を発揮している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 施設長は、支援の質の向上について施設内に具体的な体制を構築し、自らもその活動に積極的に参画している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 施設長は、支援の質の向上について、職員の意見を反映するための具体的な取組を行っている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 施設長は、支援の質の向上について、職員の教育・研修の充実を図っている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 施設長は、職員の模範となるように、自己研鑽に励み、専門性の向上に努めている。	<input type="radio"/>
【コメント】		
施設長は職員会議等に参加をし、必要に応じて助言を行っている。また、研修等にも積極的に参加して専門性の向上に努めている。職員に対しても研修や他施設見学の機会をつくっている。		

②	13 経営の改善や業務の実行性を高める取組に指導力を発揮している。	a
	<input type="checkbox"/> 施設長は、経営の改善や業務の実効性の向上に向けて、人事、労務、財務等を踏まえ分析を行っている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 施設長は、施設(法人)の理念や基本方針の実現に向けて、人員配置、職員の働きやすい環境整備等、具体的に取り組んでいる。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 施設長は、経営の改善や業務の実効性の向上に向けて、施設内に同様の意識を形成するための取組を行っている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 施設長は、経営の改善や業務の実効性を高めるために施設内に具体的な体制を構築し、自らもその活動に積極的に参画している。	<input type="radio"/>
【コメント】		
施設長は働きやすい環境整備等に取り組み、記録のスリム化等の業務の省力化や適正な人員配置などに努めている。		

2 福祉人材の確保・育成

(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。		第三者 評価結果
①	14 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	a
	<input type="checkbox"/> 必要な福祉人材や人員体制に関する基本的な考え方や、福祉人材の確保と育成に関する方針が確立している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 支援に関わる専門職(有資格の職員)の配置等、必要な福祉人材や人員体制について具体的な計画がある。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 計画にもとづいた福祉人材の確保や育成が実施されている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 法人・施設として、効果的な福祉人材確保(採用活動等)を実施している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 各種加算職員の配置に積極的に取り組み、人員体制の充実に努めている。	<input type="radio"/>
【コメント】		
組織が職員に求める基本姿勢や専門性・専門資格を中・長期計画に明示している。実習生をアルバイト雇用したり、非常勤から正規職員へ登用するなど効果的な人材確保を行っている。		

②	15 総合的な人事管理が行われている。	b
	<input type="checkbox"/> 法人・施設の理念・基本方針にもとづき「期待する職員像等」を明確にしている。	○
	<input type="checkbox"/> 人事基準(採用、配置、異動、昇進・昇格等に関する基準)が明確に定められ、職員等に周知されている。	
	<input type="checkbox"/> 一定の人事基準にもとづき、職員の専門性や職務遂行能力、職務に関する成果や貢献度等を評価している。	○
	<input type="checkbox"/> 職員処遇の水準について、処遇改善の必要性等を評価・分析するための取組を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 把握した職員の意向・意見や評価・分析等にもとづき、改善策を検討・実施している。	○
	<input type="checkbox"/> 職員が、自ら将来の姿を描くことができるような総合的な仕組みづくりができて	
	いる。	

【コメント】

人事管理体制については、できるかぎり社会福祉士や保育士の有資格者を優先的に採用し、年1回の職員面談で、職員の就業状況や体調の把握を行っている。しかし、人事管理に関する方針が確立されておらず、人事考課も実施されていない。

(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。

①	16 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。	a
	<input type="checkbox"/> 職員の就業状況や意向の把握等にもとづく労務管理に関する責任体制を明確にしている。	○
	<input type="checkbox"/> 職員の有給休暇の取得状況や時間外労働のデータを定期的に確認するなど、職員の就業状況を把握している。	○
	<input type="checkbox"/> 職員の心身の健康と安全の確保に努め、その内容を職員に周知している。	○
	<input type="checkbox"/> 定期的に職員との個別面談の機会を設ける、職員の悩み相談窓口を施設内に設置するなど、職員が相談しやすいような施設内の工夫をしている。	○
	<input type="checkbox"/> 職員の希望の聴取等をもとに、総合的な福利厚生を実施している。	○
	<input type="checkbox"/> ワーク・ライフ・バランスに配慮した取組を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 改善策については、人材や人員体制に関する具体的な計画に反映し実行している。	○
	<input type="checkbox"/> 人材の確保、定着の観点から、施設の魅力を高める取組や働きやすい職場づくりに関する取組を行っている。	○

【コメント】

職員の就業状況や事務部門でデータ把握している。大型連休が取れるようにしたり、ワークライフバランスに配慮した取り組みを行っている。職員が相談しやすいように週1回臨床心理士に来てもらっている。京都府民間社会福祉施設共済会に加入している。

(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。

①	17 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	b
	<input type="checkbox"/> 施設として「期待する職員像」を明確にし、職員一人ひとりの目標管理のための仕組みが構築されている。	○
	<input type="checkbox"/> 個別面接を行う等施設の目標や方針を徹底し、コミュニケーションのもとで職員一人ひとりの目標が設定されている。	○
	<input type="checkbox"/> 職員一人ひとりの目標の設定は、目標項目、目標水準、目標期限が明確にされた適切なものとなっている。	
	<input type="checkbox"/> 職員一人ひとりが設定した目標について、中間面接を行うなど、適切に進捗状況の確認が行われている。	
	<input type="checkbox"/> 職員一人ひとりが設定した目標について、年度当初・年度末(期末)面接を行うなど、目標達成度の確認を行っている。	○

【コメント】

期待する職員像については「福朗が求める人材」に明記されており、職員一人ひとりが年度初めに目標を立て、それをもとに施設長の面談を行っている。しかし、中間面接など進捗状況の確認ができていない。

②	18 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	a
	<input type="checkbox"/> 施設が目指す支援を実施するために、基本方針や計画の中に、「期待する職員像」を明示している。	○
	<input type="checkbox"/> 現在実施している支援の内容や目標を踏まえて、基本方針や計画の中に、施設が職員に必要とされる専門技術や専門資格を明示している。	○
	<input type="checkbox"/> 策定された教育・研修計画にもとづき、教育・研修が実施されている。	○
	<input type="checkbox"/> 定期的に計画の評価と見直しを行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 定期的に研修内容やカリキュラムの評価と見直しを行っている。	○

【コメント】

期待する職員像については「福朗が求める人材」に明記されている。研修は計画（マニュアル）に基づき実施されており、必要に応じて見直しが行われている。研修に参加した職員は報告書を作成するとともに職員会議等で伝達研修を行っている。

③	19 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	a
	<input type="checkbox"/> 個別の職員の知識、技術水準、専門資格の取得状況等を把握している。	○
	<input type="checkbox"/> 新任職員をはじめ職員の経験や習熟度に配慮した個別的なOJTが適切に行われている。	○
	<input type="checkbox"/> 階層別研修、職種別研修、テーマ別研修等の機会を確保し、職員の職務や必要とする知識・技術水準に応じた教育・研修を実施している。	○
	<input type="checkbox"/> 外部研修に関する情報提供を適切に行うとともに、参加を勧奨している。	○
	<input type="checkbox"/> 職員一人ひとりが、教育・研修の場に参加できるよう配慮している。	○

【コメント】

職員の経験年数別に研修計画を作成している。新人職員には、毎月スーパーバイスが行われている。非常勤職員も含め研修に参加できるように配慮している。

(4) 実習生等の支援に関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。

①	20 実習生等の支援に関わる専門職の教育・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	a
	<input type="checkbox"/> 実習生等の支援に関わる専門職の教育・育成に関する基本姿勢を明文化している。	○
	<input type="checkbox"/> 実習生等の支援の専門職の教育・育成についてのマニュアルが整備されている。	○
	<input type="checkbox"/> 専門職種の特性に配慮したプログラムを用意している。	○
	<input type="checkbox"/> 指導者に対する研修を実施している。	○
	<input type="checkbox"/> 実習生については、学校側と、実習内容について連携してプログラムを整備するとともに、実習期間中においても継続的な連携を維持していくための工夫を行っている。	○

【コメント】

○実習生の受入れについては、受入れ方針を明文化して受入れマニュアルを策定し、社会福祉士や保育士の実習生を受入れている。受入れにあたっては、実習指導者研修を受けた職員が養成学校と連携し、実習生受入れのプログラムを作成している。

3 運営の透明性の確保

(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。	第三者 評価結果
<p>① 21 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。</p> <p><input type="checkbox"/> ホームページ等の活用により、法人・施設の理念や基本方針、支援の内容、事業計画、事業報告、予算、決算情報が適切に公開されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 施設における地域の福祉向上のための取組の実施状況、第三者評価の受審、苦情・相談の体制や内容について公表している。</p> <p><input type="checkbox"/> 第三者評価の受審結果、苦情・相談の体制や内容にもとづく改善・対応の状況について公表している。</p> <p><input type="checkbox"/> 法人・施設の理念、基本方針やビジョン等について、社会・地域に対して明示・説明し、法人・施設の実存意義や役割を明確にするように努めている。</p> <p><input type="checkbox"/> 地域へ向けて、理念や基本方針、施設で行っている活動等を説明した印刷物や広報誌等を配布している。</p>	<p>a</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p>
<p>【コメント】</p> <p>ホームページ、パンフレット等を活用して、施設の理念や支援内容、第三者評価の受診結果等を公開している。</p>	

<p>② 22 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。</p> <p><input type="checkbox"/> 施設における事務、経理、取引等に関するルールが明確にされ、職員等に周知している。</p> <p><input type="checkbox"/> 施設における事務、経理、取引等に関する職務分掌と権限・責任が明確にされ、職員等に周知している。</p> <p><input type="checkbox"/> 施設における事務、経理、取引等について、必要に応じて外部の専門家に相談し、助言を得ている。</p> <p><input type="checkbox"/> 施設における事務、経理、取引等について内部監査を実施するなど、定期的に確認されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 外部監査の活用等により、事業、財務に関する外部の専門家によるチェックを行っている。</p> <p><input type="checkbox"/> 外部監査の結果や公認会計士等による指導や指摘事項にもとづいて、経営改善を実施している。</p>	<p>a</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p>
<p>【コメント】</p> <p>施設における事務、経理、取引等について、職務分掌が明確にされている。また、内部監査の実施及び定期的に税理士、公認会計士の指導を受けている。</p>	

4 地域との交流、地域貢献

(1) 地域との関係が適切に確保されている。	第三者 評価結果
<p>① 23 母親、子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。</p> <p><input type="checkbox"/> 地域との関わり方について基本的な考え方を文書化している。</p> <p><input type="checkbox"/> 母親と子どもの個別的状況に配慮しつつ地域の行事や活動に参加する際、必要があれば職員やボランティアが支援を行う体制が整っている。</p> <p><input type="checkbox"/> 施設や母親と子どもへの理解を得るために、地域の人々に向けた日常的なコミュニケーションを心がけている。</p> <p><input type="checkbox"/> 母親と子どもの買い物や通院等日常的な活動についても、定型的でなく個々の母親と子どものニーズに応じて、地域における社会資源を利用するよう推奨している。</p> <p>(母子生活支援施設)</p> <p><input type="checkbox"/> 学校の友人等が施設へ遊びに来やすい環境づくりを行っている。</p>	<p>a</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p>
<p>【コメント】</p> <p>地域とのかかわりについては中期計画に明記している。地域社会への参加・交流については、町内会にも加入し、利用者の方々が町内会行事・お祭り・運動会・ラジオ体操等様々な地域行事に参加できるよう支援している。地域の地図にも施設情報を掲載し情報発信を行っている。また、学校の友人が遊びに来やすいように学童室や学習室を貸し出している。</p>	

②	24 ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	a
	<input type="checkbox"/> ボランティア受入れに関する基本姿勢を明文化している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 地域の学校教育等への協力について基本姿勢を明文化している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> ボランティア受入れについて、登録手続、ボランティアの配置、事前説明等に関する項目が記載されたマニュアルを整備している	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> ボランティアに対して母親と子どもとの交流を図る視点等で必要な研修、支援を行っている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 学校教育への協力を行っている。	<input type="radio"/>

【コメント】

ボランティアの受け入れに当たっては「ボランティアの方へ」に基づき説明をしている。学童保育等において学生ボランティアの受け入れなど積極的に行っている。

(2) 関係機関との連携が確保されている。

①	25 施設として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	a
	<input type="checkbox"/> 当該地域の関係機関・団体について、個々の母親と子どもの状況に対応できる社会資源を明示したリストや資料を作成している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 職員会議で説明するなど、職員間で情報の共有化が図られている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 関係機関・団体と定期的な連絡会等を行っている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 地域の関係機関・団体の共通の問題に対して、解決に向けて協働して具体的な取組を行っている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 地域に適切な関係機関・団体がない場合には、母親と子どものアフターケア等を含め、地域でのネットワーク化に取り組んでいる。	<input type="radio"/>

【コメント】

ケースごとに関係機関の連絡先を明示している。関係機関との連携については、福祉事務所と連絡会を毎月開催すると共に、必要に応じて児童相談所等の関係機関とも連携を図っている。

(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。

①	26 施設が有する機能を地域に還元している。	a
	<input type="checkbox"/> 施設のスペースを活用して地域住民との交流を意図した取組を行っている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 施設の専門性や特性を活かし、地域住民の生活に役立つ講演会や研修会等を開催して、地域へ参加を呼びかけている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 施設の専門性や特性を活かした相談支援事業、支援を必要とする地域住民のためのサークル活動等、地域ニーズに応じ住民が自由に参加できる多様な支援活動を行っている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 災害時の地域における役割等について確認がなされている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 多様な機関等と連携して、社会福祉分野に限らず地域の活性化やまちづくりに貢献している。	<input type="radio"/>

【コメント】

地域に向けて学習支援を週1回、共有スペースを活用して実施している。また、町内会の会合にも開放している。施設の専門性を活かして、地域の方を対象にした24時間電話やメールによる相談を行っている。

②	27 地域の福祉ニーズにもとづく公益的な事業・活動が行われている。	a
	<input type="checkbox"/> 施設の機能を地域に還元することなどを通じて、地域の福祉ニーズの把握に努めている。	○
	<input type="checkbox"/> 民生委員・児童委員等と定期的な会議を開催するなどによって、具体的な福祉ニーズの把握に努めている。	○
	<input type="checkbox"/> 地域住民に対する相談事業を実施することなどを通じて、多様な相談に応じる機能を有している。	○
	<input type="checkbox"/> 関係機関・団体との連携にもとづき、具体的な福祉ニーズの把握に努めている。	○
	<input type="checkbox"/> 把握した福祉ニーズにもとづいて、法で定められた社会福祉事業にとどまらない地域貢献に関わる事業・活動を実施している。	○
	<input type="checkbox"/> 把握した福祉ニーズにもとづいた具体的な事業・活動を、計画等で明示している。	○

【コメント】

地域に「ウィエンテだより」を配布して施設の専門性を活かし無料相談等24時間受付を行っている。食材提供や、学習支援も行っている。また、子育て支援短期利用事業や放課後当デイサービス事業も実施しており、地域の福祉ニーズの把握も行っている。

Ⅲ 適切な支援の実施

1 母親と子ども本位の支援

(1) 母親と子どもを尊重する姿勢が明示されている。	第三者 評価結果	
①	28 母親と子どもを尊重した支援の実施について共通の理解をもつための取組を行っている。	a
	<input type="checkbox"/> 理念や基本方針に、母親と子どもを尊重した支援の実施について明示し、職員が理解し実践するための取組を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 母親と子どもを尊重した支援の実施に関する「倫理綱領」や規程等を策定し、職員が理解し実践するための取組を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 母親と子どもを尊重した支援実施に関する基本姿勢が、個々の支援の標準的な実施方法等に反映されている。	○
	<input type="checkbox"/> 母親と子どもの尊重や基本的人権への配慮について、施設で勉強会・研修を実施している。	○
	<input type="checkbox"/> 母親と子どもの尊重や基本的人権への配慮について、定期的に状況の把握・評価等を行い、必要な対応を図っている。	○

【コメント】

運営方針に子どもを尊重した支援の実施について明記している。個々の支援の標準的な実施方法は業務マニュアルに明記し、それに基づきアセスメント書式に課題抽出や評価を記載している。また、毎月外部講師によるケース検討会を実施し、職員の共通理解を図っている。

②	29 母親と子どものプライバシー保護等の権利擁護に配慮した支援の実施が行われている。	a
	<input type="checkbox"/> 母親と子どものプライバシー保護について、規程・マニュアル等が整備され、職員の理解が図られている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 母親と子どもの虐待防止等の権利擁護について、規程・マニュアル等が整備され、職員の理解が図られている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 母親と子どものプライバシー保護と虐待防止に関する知識、社会福祉事業に携わる者としての姿勢・責務、母親と子どものプライバシー保護や権利擁護に関する規程・マニュアル等について、職員に研修を実施している。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 一人ひとりの母親と子どもにとって、生活の場にふさわしい快適な環境を提供し、母親と子どものプライバシーを守るよう設備等の工夫を行っている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 母親と子どもにプライバシー保護と権利擁護に関する取組を周知している。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 規程・マニュアル等にもとづいた支援が実施されている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 不適切な事案が発生した場合の対応方法等が明示されている。	<input type="checkbox"/>

【コメント】

「個人情報取り扱い規定」の中にプライバシーの規定が定められ、それに基づいて支援を実施している。母親には自治会を通して伝え、職員には職員会議で規定の読み合わせなどを行っている。

(2) 支援の実施に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。

①	30 母親と子どもに対して支援の利用に必要な情報を積極的に提供している。	a
	<input type="checkbox"/> 理念や基本方針、支援の内容や施設の特性等を紹介した資料を準備している。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 施設を紹介する資料は、言葉遣いや写真・図・絵の使用等で誰にでもわかるような内容にしている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 施設に入所予定の母親と子どもについては、個別に丁寧な説明を実施している。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 見学等の希望に対応している。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 母親と子どもに対する情報提供について、適宜見直しを実施している。	<input type="checkbox"/>

【コメント】

施設の特性等を紹介した資料としてパンフレットや「ヴェインテの暮らし」を活用している。また、ホームページは写真や図を用いてわかりやすく作成している。見学の受入れを随時実施し、見学して頂いた上で同意を得ている。

②	31 支援の開始・過程において母親と子どもにわかりやすく説明している。	a
	<input type="checkbox"/> 支援の開始・過程における支援の内容に関する説明と同意にあたっては、母親と子どもの自己決定を尊重している。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 支援の開始・過程においては、母親と子どもがわかりやすいように工夫した資料を用いて説明している。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 説明にあたっては、母親と子どもが理解しやすいような工夫や配慮を行っている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 支援の開始・過程においては、母親と子どもの同意を得たうえでその内容を書面で残している。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 意思決定が困難な母親と子どもへの配慮についてルール化され、適正な説明、運用が図られている。	<input type="checkbox"/>

【コメント】

支援の開始・家庭においては「ヴェインテの暮らし」を用いて、施設の暮らしをわかりやすく説明している。また、知的障害や精神障害のある母親、また外国人に対してはふりがなをつけたりして説明を丁寧に行い、必要に応じて入所同意書にサインをしてもらっている。

③	32 措置変更や地域・家庭への移行等にあたり支援の継続性に配慮した対応を行っている。	b
	<input type="checkbox"/> 支援の内容の変更にあたり、従前の内容から著しい変更や不利益が生じないように配慮されている。	○
	<input type="checkbox"/> 他の施設や地域・家庭への移行にあたり、支援の継続性に配慮した手順と引継ぎ文書を定めている。	○
	<input type="checkbox"/> 施設を退所した後も、施設として母親と子どもが相談できるように担当者や窓口を設置している。	○
	<input type="checkbox"/> 施設を退所した時に、母親と子どもに対し、その後の相談方法や担当者について説明を行い、その内容を記載した文書を渡している。	

【コメント】

措置変更や地域・家庭への移行等に当たっては支援が継続できるように引継ぎを行っている。しかし、その引継ぎ方に関してはケースによって決められており、手順や引継ぎ文書は定められていない。

(3) 母親と子どもの満足の向上に努めている。

第三者
評価結果

①	33 母親と子どもの満足の向上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	a
	<input type="checkbox"/> 母親と子どもの満足に関する調査が定期的に行われている。	○
	<input type="checkbox"/> 母親と子どもへの個別の相談面接や聴取等が、母親と子どもの満足を把握する目的で定期的に行われている。	○
	<input type="checkbox"/> 職員等が、母親と子どもの満足を把握する目的で、母親と子ども会等に出席している。	○
	<input type="checkbox"/> 母親と子どもの満足に関する調査の担当者等の設置や、把握した結果を分析・検討するために、母親と子ども参画のもとで検討会議の設置等が行われている。	○
	<input type="checkbox"/> 分析・検討の結果にもとづいて具体的な改善を行っている。	○

【コメント】

母親自治会や子ども会の実施、アンケートの実施等により、母親や子ども達の行事や支援についての思いを確認し、必要に応じて行事内容や支援内容を検討している。個別には半年に1回の面談を実施している。

(4) 母親と子どもが意見等を述べやすい体制が確保されている。

①	34 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	b
	<input type="checkbox"/> 苦情解決の体制(苦情解決責任者の設置、苦情受付担当者の設置、第三者委員の設置)が整備されている。	○
	<input type="checkbox"/> 苦情解決の仕組みをわかりやすく説明した掲示物が掲示され、資料を母親と子どもに配布し説明している。	○
	<input type="checkbox"/> 苦情記入カードの配布やアンケート(匿名)を実施するなど、母親と子どもが苦情を申し出しやすい工夫を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 苦情内容については、受付と解決を図った記録が適切に保管している。	○
	<input type="checkbox"/> 苦情内容に関する検討内容や対応策については、母親と子どもに必ずフィードバックしている。	○
	<input type="checkbox"/> 苦情内容及び解決結果等は、苦情を申し出た母親と子どもに配慮したうえで、公表している。	
	<input type="checkbox"/> 苦情相談内容にもとづき、支援の質の向上に関わる取組が行われている。	○

【コメント】

苦情解決の体制は整備されており、掲示板や「ヴェインテのくらし」にも記載して利用者に説明している。「苦情解決マニュアル」に沿って対応もしているが、苦情記入カードの配布など、母親と子どもに苦情を申し出しやすい工夫は行えていない。

②	35 母親と子どもが相談や意見を述べやすい環境を整備し、母親と子どもに周知している。	b
	<input type="checkbox"/> 母親と子どもが相談したり意見を述べたりする際に、複数の方法や相手を自由に選べることをわかりやすく説明した文書を作成している。	○
	<input type="checkbox"/> 母親と子どもに、その文章の配布やわかりやすい場所に掲示する等の取組を行っている。	
	<input type="checkbox"/> 相談をしやすい、意見を述べやすいスペースの確保等の環境に配慮している。	○

【コメント】

「母親自治会」「子ども会」「喫茶」「中高生の集い」、またアンケートなど、相談・意見を述べる場や方法を設置し、個別にも面談など相談する機会を設けている。しかし複数の方法や相談相手を自由に選べる事など口頭では伝えてはいるが、その方法を文章にして掲示等はできていない。

③	36 母親と子どもからの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	b
	<input type="checkbox"/> 相談や意見を受けた際の記録の方法や報告の手順、対応策の検討等について定めたマニュアル等を整備している。	○
	<input type="checkbox"/> 対応マニュアル等の定期的な見直しを行っている。	
	<input type="checkbox"/> 職員は、日々の支援の実施において、母親と子どもが相談しやすく意見を述べやすいように配慮し、適切な相談対応と意見の傾聴に努めている。	○
	<input type="checkbox"/> 意見箱の設置、アンケートの実施等、母親と子どもの意見を積極的に把握する取組を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 職員は、把握した相談や意見について、検討に時間がかかる場合に状況を速やかに説明することを含め迅速な対応を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 意見等にもとづき、支援の質の向上に関わる取組が行われている。	○

【コメント】

相談や意見を受けた際の「記録の書き方マニュアル」が整備されており、定期的に見直しもしている。利用者の意見の傾聴に努め、迅速に対応をしている。検討に時間がかかる場合は、その状況説明をしている。しかし定期的なマニュアル等の見直しがなされてなかった。

(5) 安心・安全な支援の実施のための組織的な取組が行われている。

第三者
評価結果

①	37 安心・安全な支援の実施を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	a
	<input type="checkbox"/> リスクマネジメントに関する責任者の明確化(リスクマネジャーの選任・配置)、リスクマネジメントに関する委員会を設置するなどの体制を整備している。	○
	<input type="checkbox"/> 事故発生時の対応と安全確保について責任、手順(マニュアル)等を明確にし、職員に周知している。	○
	<input type="checkbox"/> 母親と子どもの安心と安全を脅かす事例の収集が積極的に行われている。	○
	<input type="checkbox"/> 収集した事例をもとに、職員の参画のもとで発生要因を分析し、改善策・再発防止策を検討・実施する等の取組が行われている。	○
	<input type="checkbox"/> 職員に対して、安全確保・事故防止に関する研修を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 事故防止策等の安全確保策の実施状況や実効性について、定期的に評価・見直しを行っている。	○

【コメント】

「事故対応マニュアル」「リスクマネジメントに関するマニュアル」があり、職員には周知している。施設外部で母親と子どもの安心と安全を脅かす事例(京都市、他施設情報収集)は、施設長が情報発信し、職員間で情報共有をしている。

②	38 感染症の予防や発生時における母親と子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	b
	<input type="checkbox"/> 感染症対策について、責任と役割を明確にした管理体制が整備されている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 感染症の予防と発生時等の対応マニュアル等を作成し、職員に周知徹底している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 担当者等を中心にして、定期的に感染症の予防や安全確保に関する勉強会等を開催している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 感染症の予防策が適切に講じられている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 感染症の発生した場合には対応が適切に行われている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 感染症の予防と発生時等の対応マニュアル等を定期的に見直している。	

【コメント】

感染症予防や対策についての「感染症マニュアル」を整備している。また「京都市子ども若者はぐみ局」より情報提供されるものを職員間で共有し、必要に応じて利用者にも情報提供している。しかし、定期的なマニュアルの見直しがされていない。

③	39 災害時における母親と子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。	a
	<input type="checkbox"/> 災害時の対応体制が決められている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 立地条件等から災害の影響を把握し、建物・設備類、支援を継続するために必要な対策を講じている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 母親と子ども及び職員の安否確認の方法が決められ、すべての職員に周知されている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 食料や備品類等の備蓄リストを作成し、管理者を決めて備蓄を整備している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 防災計画等整備し、地元の行政をはじめ、消防署、警察、自治会、福祉関係団体等と連携するなど、体制をもって訓練を実施している。	<input type="radio"/>

【コメント】

災害時の対応に関しては、「火災時対応マニュアル」や「消防計画」に定められている。また、各家庭で食料や備品の備蓄を促しており、それに加え施設としても備蓄を準備している。避難訓練は毎月実施している。

2 支援の質の確保

(1) 支援の標準的な実施方法が確立している。	第三者 評価結果	
①	40 支援について標準的な実施方法が文書化され支援が実施されている。	b
	<input type="checkbox"/> 標準的な実施方法が適切に文書化されている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 標準的な実施方法には、母親と子どもの尊重、プライバシーの保護や権利擁護に関わる姿勢が明示されている。	
	<input type="checkbox"/> 標準的な実施方法について、研修や個別の指導等によって職員に周知徹底するための方策を講じている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 標準的な実施方法にもとづいて実施されているかどうかを確認する仕組みがある。	<input type="radio"/>

【コメント】

入所受入れの標準的な支援方法や自立支援計画書の策定方法に関するマニュアルを整備している。特に新しい職員には、1週間に1回スーパービジョンを実施している。しかし、プライバシーにかかる姿勢が明示されていない。

②	41 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	a
	<input type="checkbox"/> 支援の標準的な実施方法の検証・見直しに関する時期やその方法が施設で定められている。	○
	<input type="checkbox"/> 支援の標準的な実施方法の検証・見直しが定期的に行われている。	○
	<input type="checkbox"/> 検証・見直しにあたり、自立支援計画の内容が必要に応じて反映されている。	○
	<input type="checkbox"/> 検証・見直しにあたり、職員や母親と子どもからの意見や提案が反映されるような仕組みになっている。	○

【コメント】

標準的な実施方法について、毎月の職員会議での検討や年度末には自立支援計画の策定方法に関するマニュアル等の見直しをしている。

(2) 適切なアセスメントにより自立支援計画が策定されている。

①	42 アセスメントにもとづく個別的な自立支援計画を適切に策定している。	a
	<input type="checkbox"/> 自立支援計画策定の責任者を設置している。	○
	<input type="checkbox"/> アセスメント手法が確立され、適切なアセスメントが実施されている。	○
	<input type="checkbox"/> 部門を横断したさまざまな職種の関係職員(種別によっては施設以外の関係者も)が参加して、アセスメント等に関する協議を実施している。	○
	<input type="checkbox"/> 自立支援計画には、母親と子ども一人ひとりの具体的なニーズが明示されている。	○
	<input type="checkbox"/> 自立支援計画を策定するための部門を横断したさまざまな職種による関係職員(種別によっては組織以外の関係者も)の合議、母親と子どもの意向把握と同意を含んだ手順を定めて実施している。	○
	<input type="checkbox"/> 自立支援計画どおりに支援が行われていることを確認する仕組みが構築され、機能している。	○
	<input type="checkbox"/> 支援困難ケースへの対応について検討し、積極的かつ適切な支援が行われている。	○

【コメント】

アセスメントに基づき、母親・子どもそれぞれに自立支援計画書を施設独自の書式にて策定している。未就学児は「乳幼児アセスメント」を実施している。支援困難ケースについては、施設以外の関係者の情報を収集しアセスメントと支援実施計画に反映させている。

②	43 定期的に自立支援計画の評価・見直しを行っている。	a
	<input type="checkbox"/> 自立支援計画の見直しについて、見直しを行う時期、検討会議の参加職員、母親と子どもの意向把握と同意を得るための手順等、組織的な仕組みを定めて実施している。	○
	<input type="checkbox"/> 見直しによって変更した自立支援計画の内容を、関係職員に周知する手順を定めて実施している。	○
	<input type="checkbox"/> 自立支援計画を緊急に変更する場合の仕組みを整備している。	○
	<input type="checkbox"/> 自立支援計画の評価・見直しにあたっては、標準的な実施方法に反映すべき事項、支援を十分に実施できていない内容(ニーズ)等、支援の質の向上に関わる課題等が明確にされている。	○

【コメント】

入所時は1ヶ月を目途に評価・見直しをし、母親と面談しながら半年に1回は振り返りを行っている。緊急など変更を要する場合は、児童相談所や学校等の関係者も含め、担当責任者で自立支援計画の見直しを実施する。

(3) 支援の実施の記録が適切に行われている。

①	44 母親と子どもに関する支援の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化している。	a
	<input type="checkbox"/> 母親と子どもの身体状況や生活状況等を、施設が定めた統一した様式によって把握し記録している。	○
	<input type="checkbox"/> 自立支援計画にもとづく支援が実施されていることを記録により確認することができる。	○
	<input type="checkbox"/> 記録する職員で記録内容や書き方に差異が生じないように、記録要領の作成や職員への指導等の工夫をしている。	○
	<input type="checkbox"/> 施設における情報の流れが明確にされ、情報の分別や必要な情報が的確に届くような仕組みが整備されている。	○
	<input type="checkbox"/> 情報共有を目的とした会議の定期的な開催等、部門横断での取組がなされている。	○
	<input type="checkbox"/> パソコンのネットワークシステムの利用や記録ファイルの回覧等を実施して、施設内で情報を共有する仕組みが整備されている。	○

【コメント】

記録の様式は自立支援計画に基づく支援を意識できる書式となっており、パソコンのネットワークシステムで全職員が共有している。

②	45 母親と子どもに関する記録の管理体制が確立している。	b
	<input type="checkbox"/> 個人情報保護規程等により、母親と子どもの記録の保管、保存、廃棄、情報の提供に関する規定を定めている。	○
	<input type="checkbox"/> 個人情報の不適正な利用や漏えいに対する対策と対応方法が規定されている。	○
	<input type="checkbox"/> 記録管理の責任者が設置されている。	○
	<input type="checkbox"/> 記録の管理について個人情報保護の観点から、職員に対し教育や研修が行われている。	○
	<input type="checkbox"/> 職員は、個人情報保護規程等を理解し、遵守している。	○
	<input type="checkbox"/> 個人情報の取扱いについて、母親と子どもに説明している。	○

【コメント】

個人情報の取り扱い規定に基づき、記録等の管理及び職員には研修を実施している。母親には入所時に説明をし、子どもには随時「守られていること」「権利があること」を説明しているが十分とはいえないと認識している。

内容評価基準（28項目） A-1 母親と子ども本位の支援

(1) 母親と子どもの尊重と最善の利益の考慮	第三者 評価結果
<p>① A1 社会的養護が子どもの最善の利益を目指して行われることを職員が共通して理解し、日々の支援において実践している。</p> <p><input type="checkbox"/> 支援の内容が母親と子どもにとって最善の利益になっているか、振り返り検証する機会が設けられている。</p> <p><input type="checkbox"/> 母親と子どもの個人を尊重し、母親と子どもの希望や意見に可能な限り応えている。</p> <p><input type="checkbox"/> 人権に配慮した支援を行うために、職員一人一人の職業倫理並びに職員としての職務及び責任の理解と自覚を持っている。</p> <p><input type="checkbox"/> 施設全体の質の向上を図るため、職員一人一人が、実践や研修を通じて専門性を高めるとともに、実践の内容に関する職員の共通理解や意見交換を図り、協働性を高めている。</p> <p><input type="checkbox"/> 職員どうしの信頼関係とともに、職員と子ども及び職員と母親との信頼関係を形成していく中で、常に自己研鑽に努め、喜びや意欲を持って支援に当たっている。</p> <p><input type="checkbox"/> 受容的・支持的なかかわりを基本としながら母親と子どもの状況に応じて適切な対応ができるよう、常に母親と子どもの利益を考慮し真摯に向き合っている。</p>	<p>a</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p>
<p>【コメント】</p> <p>支援が利用者の最善の利益となるよう、母親と子どもの意向を確認した上で自立支援計画が立てられている。また月1回、大学から講師を招いての事例検討会実施や、週1回のグループスーパービジョンを通し支援の質の向上に取り組んでいる。</p>	
(2) 権利侵害への対応	
<p>① A2 いかなる場合においても、職員等による暴力や脅かし、人格的辱め、心理的虐待、セクシャルハラスメントなどの不適切なかかわりが起こらないよう権利侵害を防止している。</p> <p><input type="checkbox"/> 不適切なかかわりがあった場合を想定し、施設長が職員と利用者の双方に事実確認や原因の分析等を行うことや「就業規則」等の規程に基づいて厳正に処分を行う仕組みがつけられている。</p> <p><input type="checkbox"/> 不適切なかかわりの起こりやすい状況や場面について、具体的な例を示しながら、研修や話し合いを行い、職員による不適切なかかわりを行わないための支援技術を習得させている。</p> <p><input type="checkbox"/> 不適切なかかわりの禁止を職員等に徹底するため、日常的に会議等で取り上げ、行われていないことを確認している。</p> <p><input type="checkbox"/> 職員からの暴力や言葉による脅かしなどの、不適切なかかわりが発生した場合に対応するためのマニュアル等を整備し、規程に基づいて厳正に対応している。</p> <p><input type="checkbox"/> 不適切なかかわりや暴力を見たり聞いたりしたら、管理者等に報告することを義務付けている。</p>	<p>a</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p>
<p>【コメント】</p> <p>「虐待防止・虐待対応マニュアル」が定められている。職員間でマニュアルの読み合わせを行い、不適切なかかわりが起こらないよう意識を高め、それに基づく支援を実施している。</p>	

②	A3 いかなる場合においても、母親や子どもが、暴力や脅かし、人格を辱めるような不適切な行為を行わないよう徹底している。	a
	<input type="checkbox"/> 不適切な行為の防止について、具体的な例を示して、母親と子どもに周知している。	○
	<input type="checkbox"/> 不適切な行為に迅速に対応できるように、母親と子どもからの訴えやサインを見逃さないよう留意している。	○
	<input type="checkbox"/> 不適切な行為の防止を徹底するため、日常的に会議等で取り上げ、行われていないことの確認や職員体制の点検と改善を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 不適切な行為を伴わない人とのかかわりについて、母親や子どもに伝え、良好な人間関係の構築を図っている。	○

【コメント】

不適切な行為の防止について「ヴェインテくらし」に明記すると共に、母親へはそのような行為が見られた際には即通報することを伝えている。また部屋の清掃状況の観察等により、利用者からのサインを見逃さないよう留意している。

③	A4 子どもに対する暴力や脅かし、人格を辱めるような不適切なかかわりの防止と早期発見に取り組んでいる。	a
	<input type="checkbox"/> 不適切なかかわりに迅速に対応できるように、子どもからの訴えやサインを見逃さないよう留意している。	○
	<input type="checkbox"/> 子どもが自分自身を守るための知識・具体的方法について学習する機会を設けている。	○
	<input type="checkbox"/> 不適切なかかわりを伴わない子育てについて母親に伝え、良好な親子関係の構築を図っている。	○
	<input type="checkbox"/> 常に親子関係の把握に努め、適切な助言や支援を行っている。	○

【コメント】

職員が毎朝の巡回訪問を行うことや、利用者玄関に常駐することにより常に親子関係や健康状態の把握に努めている。また入所時に、子どもには守られる権利がある事ことについて個別に説明し、具体的方法については子ども会で話し合われている。

(3) 思想や信教の自由の保障

①	A5 母親と子どもの思想や信教の自由を保障している。	a
	<input type="checkbox"/> 施設において宗教的活動等を強要していない。	○
	<input type="checkbox"/> 個人的な宗教活動等は尊重している。	○
	<input type="checkbox"/> 母親と子どもの思想や信教の自由については、最大限に配慮し保障している。	○
	<input type="checkbox"/> 母親の思想や信教によって、その子どもの権利が損なわれないよう配慮している。	○

【コメント】

利用者の思想や信教の自由については配慮し保障している。

(4) 母親と子どもの意向や主体性の配慮	
<p>① A6 母親や子どもが、自分たちの生活全般について自主的に考える活動（施設内の自治活動等）を推進し、施設における生活改善に向けて積極的に取り組んでいる。</p>	a
<p><input type="checkbox"/> 子ども自身が自分たちの生活全般について、自主的・主体的な取組ができるような活動（施設内の自治会活動等）を母親の理解のもとで実施している。</p>	○
<p><input type="checkbox"/> 子どもが問題や課題について主体的に検討し、その上で取組、実行、評価するといった内容を含んだ活動を母親の理解と協力のもと実施している。</p>	○
<p><input type="checkbox"/> 活動を通して、子どもの自己表現力、自律性、責任感などが育つよう必要な支援をしている。</p>	○
<p><input type="checkbox"/> 母親が自らの権利を学び、自主的に自分の生活を改善していく力を養えるよう支援している。</p>	○
<p><input type="checkbox"/> 母親の自治会活動等を通して、母親の自己表現力、自律性、責任感などに対する支援を行っている。</p>	○
【コメント】	
<p>母親に対しては「母親自治会」を実施し、その中で役割を持つことにより施設での生活改善に向けた主体的な取り組みが行えるよう支援している。子どもは「こども会」にて自分たちの生活について話し合い要望を出すなど、主体的な取り組みができるよう支援している。</p>	
(5) 主体性を尊重した日常生活	
<p>① A7 日常生活への支援は、母親や子どもの主体性を尊重して行っている。</p>	a
<p><input type="checkbox"/> 母親や子どもの自尊心や強みを大切にされた支援を行い、自己肯定感が回復し高まるような支援を行っている。</p>	○
<p><input type="checkbox"/> 母親と子どもに対してストレングスの視点に基づいて、エンパワメントしていく支援を行っている。</p>	○
<p><input type="checkbox"/> 常に母親と子どもの主体性を尊重した支援を通して、その人が力を発揮できるよう支援を行っている。</p>	○
【コメント】	
<p>例えば子どもがトラブルを起こした際には、できない所に目を向けるだけでなくストレングスを挙げることを意識し主体性を尊重した支援に繋げている。</p>	
<p>② A8 行事などのプログラムは、母親や子どもが参画しやすいように工夫し、計画・実施している。</p>	a
<p><input type="checkbox"/> 母親や子どもが施設での生活を楽しめるような企画を用意している。</p>	○
<p><input type="checkbox"/> 母親と子どもの主体的な参画を前提とした行事・プログラムを用意している。</p>	○
<p><input type="checkbox"/> 母親向けのプログラムでは、母親が安心して参加し楽しめるように、保育などのサポートを行っている。</p>	○
<p><input type="checkbox"/> 母親や子どもの状況を考慮し、参加しやすいように内容・時間等を工夫している。</p>	○
<p><input type="checkbox"/> 行事等の実施後に、評価を行い次回の実施につなげている。</p>	○
【コメント】	
<p>「春の親子遠足」「親子海水浴」など年間を通して、様々な行事が実施計画に基づき実施されている。年4回の「母親リフレッシュ企画」では母親が参加し易いよう、子どもの保育が行われている。また行事後にはアンケートを実施し次回の計画に繋げている。</p>	

(6) 支援の継続性とアフターケア		
①	A9 母親と子どもが安定した生活を送ることができるよう、退所後の支援を行っている。	a
	<input type="checkbox"/> 退所後の支援が効果的に行われるよう、退所後の支援計画を作成している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 退所した地域で安定して暮らすために、必要に応じて退所先の行政機関をはじめ、多様な地域の関係機関や団体とネットワークを形成し、母親と子どもが適切な支援が受けられるようにしている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 退所後も電話や来所によって施設に相談できることを母親と子どもに説明し、生活や子育て等の相談や施設機能を活用した(学童保育・学習支援・施設行事への招待等)支援を提供している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 退所後の生活が安定していることを確認するための往訪や架電等の取組を行っている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 必要に応じて退所先に往訪し、介助や同行・代行等の支援を行っている。	<input type="radio"/>
【コメント】 退所後の支援計画としてアフターケアプランを立て、退所先への訪問やハローワークへの同行等、長期に渡る継続した支援を行っている。更に「退所児の集い」など行事招待をしたり、必要に応じて子どもの学習支援を行ったりしている。		

A-2 支援の質の確保		第三者 評価結果
(1) 支援の基本		
①	A10 母親と子どもそれぞれの個別の課題に対応して、専門的支援を行っている。	a
	<input type="checkbox"/> 母親と子どもがそれぞれ抱える個別の課題に対して、目的や目標を明確にし計画的で一貫した専門的支援を行っている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 母親と子どもの課題を正しく理解し、親子・家庭のあり方を重視した支援を行っている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 母親と子どもが、自己の意思で課題を解決できるように個々の気持ちに寄り添った支援を行っている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 資料等を使いながら、必要な手続きをわかりやすく説明し、必要に応じて職員が機関等への同行及び代弁を行っている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 専門的な支援を行うために、その支援に必要な資格や経験等を考慮した職員を配置し、職員間で連携・協議を行っている。	<input type="radio"/>
【コメント】 利用者が抱える課題について、本人の意志で解決できるようそれぞれの気持ちに寄り添った支援を行っている。また臨床心理士(非常勤)を配置する等、利用者へのより専門的な支援ができる体制が整えられている。		

(2) 入所初期の支援	
<p>① A11 入所に当たり、母親と子どもそれぞれのアセスメントに基づき、生活課題・ニーズを把握し、生活や精神的な安定に向けた支援を行っている。</p>	a
<p><input type="checkbox"/> 入所直後は心理的に不安になりやすいため、信頼関係の構築に心がけ、心の安定に向けた相談支援に努めている。</p>	○
<p><input type="checkbox"/> 母親と子どもが安心して施設を利用し、課題の解決に向かえるように、関係機関等と連携して情報提供に努めている。</p>	○
<p><input type="checkbox"/> 子どもが保育所・学校に速やかに入所・通学できるよう支援している。</p>	○
<p><input type="checkbox"/> 必要に応じて、生活用具・家財道具等の貸し出しを行っている。</p>	○
<p><input type="checkbox"/> 居室は、母親と子どもが生活するために必要な十分なスペースが確保され、プライバシーに配慮したものとなっている。</p>	○
<p><input type="checkbox"/> 身体に障害のある母親や子どもに対しても、安全に生活ができるように配慮している。</p>	○
<p>【コメント】</p> <p>利用者が施設での生活にスムーズに移行できるよう、生活備品や家財道具の貸し出しを行っている。また子どもが保育所や学校に速やかに通えるよう関係先との面接を行っている。施設の共有部分はバリアフリー構造となっており、車椅子を利用される方にも安心して生活できる環境が整備されている。</p>	
(3) 母親への日常生活支援	
<p>① A12 母親が、安定した家庭生活を営むために必要な支援を行っている。</p>	a
<p><input type="checkbox"/> 生活経験に乏しい母親には、職員と共に行うことで経験を補う等の支援を行っている。</p>	○
<p><input type="checkbox"/> 心やからだの健康に不安を持つ母親には、相談に応じたり、医療機関への受診を促したりするとともに、栄養管理等の食生活への支援を行うなど、ニーズに応じた健康管理のための支援を行っている。</p>	○
<p><input type="checkbox"/> 必要に応じて、衣服の清潔保持や入浴など、気持ちよく暮らすために必要な衛生面への支援を行っている。</p>	○
<p><input type="checkbox"/> 経済的に安定した生活を送るために、必要に応じて家計の管理、将来に向けた貯蓄等の相談や支援を行っている。</p>	○
<p><input type="checkbox"/> 支援の必要性やニーズに応じて、家事・育児等、日常生活全般について、代行や介助等の支援を行っている。</p>	○
<p>【コメント】</p> <p>母親のニーズや生活スキルを踏まえ、掃除や料理を共に行ったり、入浴介助を実施したりする等、必要な日常生活支援を実施している。また経済的に安定した生活を送るため「利用者預り金等管理規定」に基づき、個々の能力に応じた家計自立支援を実施している。</p>	

②	A13 母親の子育てのニーズに対応するとともに、子どもとの適切なかかわりができるように支援している。	a
	<input type="checkbox"/> 母親の育児に関する不安や悩み等の発見に努め、その軽減に向けた相談や助言、介助等を行うとともに、必要に応じて保育の提供や保育所へつなぐ等の支援を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 母親の状況に応じ、子どもの保育所・学校等への送迎の支援を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 母親が子どもを客観的に理解できるように、発達段階や発達課題について示し、適切な子育てやかかわりについてわかりやすく説明している。	○
	<input type="checkbox"/> 虐待や不適切なかかわりを発見した時は職員が介入し、必要に応じて専門機関との連携を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 必要に応じて、子どもが通う保育所や学校と連携している。	○

【コメント】

母親の生活状況に応じて子どもの施設内保育や学童保育が利用できる環境が整備されている。また子どもの保育所や学校への送迎支援も行っている。必要に応じて障害者手帳申請の支援も行っている。

③	A14 母親が安定した対人関係を築くための支援を行っている。	a
	<input type="checkbox"/> 母親が職員とつながっていることを実感できるよう、様々な場面で気軽に声をかけたり、相談に応じるなどの取組を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 施設を自分の居場所として感じられるように、母親どうしが集うための機会や場を設け、交流を促すなどなど、関係づくりのための支援を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 対人関係がうまくできない母親には、母親のペースに合わせた関係性の構築に配慮を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 社会との関係をとることの難しさから対人関係にストレスを生じている場合は、そのストレスの軽減が図られるよう、心理療法を行ったり相談に応じたりしている。	○
	<input type="checkbox"/> 施設内の他の母親や子どもとの間でトラブルが生じたときに、その関係性を修復もしくは改善するための支援を行っている。	○

【コメント】

お互いの信頼関係の構築が母親の安定した対人関係を築く土台となるよう、職員は日々の雑談や声掛けを行うなどの取り組みを行っている。また、喫茶や行事の開催を通して母親同士の交流の支援も行っている。施設内には「心の相談ルーム」が設置され、希望に応じて臨床心理士による心理療法を実施している。

(4) 子どもへの支援

①	A15 健やかな子どもの育ちを保障するために、養育・保育に関する支援を行っている。	a
	<input type="checkbox"/> 子どもの成長段階、発達段階に応じた養育支援を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 放課後の子どもの生活の安定や活動を保障し、活動場所、プログラム等を用意するとともに、日常生活上必要な知識や技術の伝達、遊びや行事等を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> DVを目撃した子どもを含め、被虐待児等や発達障害を含む様々な障害等の特別な配慮が必要な子どもに対しては、必要に応じて個別に対応し、子どもの状況に応じた支援を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 母親のニーズや状況に応じて、施設内の保育支援や保育所への送迎、通院の付き添いなどの支援を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 施設内における養育・保育に関する記録を整備し、支援に役立てている。	○

【コメント】

施設内学童保育を実施し、子どもの発達段階や被虐待児等の状況に応じた個別支援や週1回の集団活動が行われている。乳幼児家庭に対して施設内保育を実施しており、施設外保育所への入所が困難な場合は一時保育も実施している。保育内容については保育記録を付け、母親が確認できる仕組みがある。

②	A16 子どもが自立に必要な力を身につけるために、学習や進路、悩み等への相談支援を行っている。	a
	<input type="checkbox"/> 落ち着いて学習に取り組める環境を整え、年齢に応じた適切な学習支援を行っている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 学習の習慣を身につけるとともに、学習への動機づけを図っている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 進学や就職への支援について、母親と子ども双方の意向をくみ取り、学校と連携して情報提供を行いながら、具体的な目標を定めている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 学費の負担軽減のため、各種の奨学金や授業料の減免制度等の活用への支援を行っている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 学習指導のために学習ボランティア等の協力を得ている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 子ども一人一人の個性を重視した相談・支援を行っている。	<input type="checkbox"/>

【コメント】

一人ひとりの状況に合わせて、学費に関する相談や進学、就職の支援を行っている。施設内学童保育における学習支援や、中高生については学生ボランティア「さいもんめ」の受け入れを行っている。また必要に応じて静かな環境で学習できるよう個室を確保している。

③	A17 子どもに安らぎと心地よさを与えられるおとなのかかわりや、子どもどうしのつきあいに配慮して、人との関係づくりについて支援している。	a
	<input type="checkbox"/> 母親以外のおとなにも受け入れられたり、甘えられたりする経験を増やし、おとなとの信頼関係が構築できるよう支援している。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> ボランティアや実習生など、様々なおとなとの出会いの機会を設け、多様な価値観、生き方への理解をすすめている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 悪意や暴力のないおとなモデルを提供することで、おとなに信頼感を持てるよう支援している。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 自分の気持ちをことばで適切に表現し相手に伝えることについて、日常生活の中でその方法を意識的に伝え、その能力が向上するよう支援している。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 専門的なプログラムに基づいたグループワークを積極的に取り入れている。	<input type="checkbox"/>

【コメント】

積極的にボランティアや実習生を受け入れる等、母親以外の大人との関わりが持てるよう配慮している。日頃より子ども自身が自分の気持ちを言葉で適切に伝える方法を意識的に伝えている。施設内学童保育では個別また集団プログラムを通して人との関わり方や自己表現力を身に付けられるよう支援している。

④	A18 子どもの年齢・発達段階に応じて、性についての正しい知識を得る機会を設け、思いやりの心を育む支援を行っている。	b
	<input type="checkbox"/> 性をタブー視せず、子どもの疑問や不安に正確な知識を持って応えている。	○
	<input type="checkbox"/> 職員間で性教育に関する知識や、性についてのあり方などの学習会を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 年齢、発達段階に応じて、性についての正しい知識、関心が持てるよう支援している。	○
	<input type="checkbox"/> 年齢に応じた性教育の計画があり、正しい性知識を得る機会を設けている。	
	<input type="checkbox"/> 必要に応じて外部講師を招く等して、性教育のあり方について学習会などを職員や子どもに対して実施している。	

【コメント】

子どもに気になる言動が見られたり、母親から子どもへの対応方法について相談があった場合は職員が個別に対応している。現在は年齢、発達段階に応じた性教育の計画や、正しい知識を得るための学習会等の支援は行われていない。

(5) DV被害からの回避・回復

①	A19 母親と子どもの緊急利用に適切に対応する体制を整備している。	a
	<input type="checkbox"/> 緊急時に備えて、夜間でも対応できる体制を構築している。	○
	<input type="checkbox"/> 24時間の受け入れや広域利用など、広く母親と子どもの緊急利用を受け入れている。	○
	<input type="checkbox"/> 役割分担と責任の所在を明確にし、配偶者暴力相談支援センター・警察署・福祉事務所等との連絡調整体制を整えている。	○
	<input type="checkbox"/> 緊急時対応マニュアルを作成・整備している。	○
	<input type="checkbox"/> 緊急利用のための生活用品等を予め用意している。	○

【コメント】

配偶者暴力相談センター・警察署・福祉事務所等、関係機関との連絡調整体制を整えている。24時間の受け入れや広域利用など緊急利用を受け入れる体制が整備されている。

②	A20 母親と子どもの安全確保のために、DV防止法に基づく保護命令や支援措置が必要な場合は、適切な情報提供と支援を行っている。	a
	<input type="checkbox"/> 保護命令制度や支援措置・DV相談証明の活用について、情報提供を行うとともに、必要に応じて法的手続きのための同行等の支援を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 弁護士や法テラスの紹介や調停・裁判などへの同行等、さらに必要に応じて代弁等の支援を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> DV加害者に居所が知れ、危険が及ぶ可能性がある場合には、母親と子どもの意向を確認した上で、速やかに関係機関と連携し、保護命令の手続きや他の施設への転居等の支援を行っている。	○

【コメント】

母親と子供の安全確保のために必要な情報提供や法的手続きのための支援を行っている。必要に応じて弁護士や法テラスの紹介を行っている。

③	A21 心理的ケア等を実施し、DVの影響からの回復を支援している。	a
	<input type="checkbox"/> DVについての正しい情報と知識を提供し、DV被害者の理解を促し、自己肯定感を回復するための支援を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> DVから脱出することができたことを評価し、安心し安定した生活と幸せな未来について、職員と一緒に考え支援することを伝えている。	○
	<input type="checkbox"/> 心理療法を活用し、医師やカウンセラーと情報交換を行いながら、より適切な支援を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 必要に応じて、自助グループや外部の支援団体等の紹介を行っている。	○

【コメント】

DV被害を受けた母親と子どものための「びーらぶプログラム」や自助グループのセミナー等の情報提供を行っている。施設内の臨床心理士、地域の精神科医等、関係機関と連携しながら支援を行っている。

(6) 子どもの虐待状況への対応		
①	A22 被虐待児に対しては虐待に関する専門性を持ってかわかり、虐待体験からの回復を支援している。	a
	<input type="checkbox"/> 暴力によらないコミュニケーションを用いるおとなのモデルを職員が示している。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 子どもと個別に関わる機会を作り、職員に自分の思いや気持ちを話せる時間を作っている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 子ども一人ひとりがかけがえない大切な存在であることを伝えることや、感情表現を大切にすることで、自己肯定感や自尊心の形成に向けた支援を行っている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 医療機関や児童相談所などの関係機関と必要な情報の交換を行いながら、より適切な支援を行っている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 心理療法担当職員によるカウンセリング等の専門的ケアを実施している。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 被虐待児に対する支援の専門性を高めるための職員研修等を行っている。	<input type="checkbox"/>

【コメント】

心の相談ルームを設置し、希望者にはカウンセリングを受けられる体制が整備されている。また職員は施設内外の研修を受けることにより支援の専門性の向上に努めている。

②		
	A23 子どもの権利擁護を図るために、関係機関との連携を行っている。	a
	<input type="checkbox"/> 児童虐待の発生やその疑いがある場合は児童相談所に通報し、連携して対応している。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 被虐待児童に対しては、必要に応じて、心理判定や児童精神科医との相談などの児童相談所機能を活用している。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 必要に応じて、福祉事務所や保育所・学校・病院等と情報交換や連携を図り対応している。	<input type="checkbox"/>

【コメント】

虐待対応マニュアルに基づき、児童虐待の発生やその疑いがある場合には児童相談所に通報し、連携対応している。月1回管轄内福祉事務所との情報交換会や、年1回学校との交流会を実施し連携を図っている。

(7) 家族関係への支援		
①	A24 母親や子どもの家族関係の悩みや不安に対する相談・支援を行っている。	a
	<input type="checkbox"/> 母親の家族関係の悩みや不安を受け止め、相談に応じている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 子どもの家族関係の悩みや不安を受け止め、相談に応じている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 家族の中に感情の行き違いや意見の相違がある場合、適切に介入し調整を行っている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 必要に応じて、他の親族との関係調整を行っている。	<input type="checkbox"/>

【コメント】

母親一人ひとりの家族関係の悩みや不安な思いを傾聴し、相談に丁寧に応じている。他の親族との関係性が複雑な場合等には、職員の対応を統一する等の関係調整を行っている。

(8) 特別な配慮が必要な母親、子どもへの支援	
①	<p>A25 障害や精神疾患、その他の配慮が必要な母親と子どもに対する支援を適切に行い、必要に応じて関係機関と連携している。</p> <p><input type="radio"/> a</p> <p><input type="checkbox"/> 社会資源の積極的な活用をするための支援を行っている。</p> <p><input type="checkbox"/> 〇</p> <p><input type="checkbox"/> 公的機関や就労先、保育所や学校等と連携した支援を行っている。</p> <p><input type="checkbox"/> 〇</p> <p><input type="checkbox"/> 精神疾患があり、心身状況に特別な配慮が必要な場合、同意を得て主治医との連携のもと、通院同行、服薬管理等の療養に関する支援を行っている。</p> <p><input type="checkbox"/> 〇</p> <p><input type="checkbox"/> 障害や精神疾患がある場合や外国人の母親や子どもへは、必要に応じて公的機関、就労先への各種手続きの支援を行ったり、保育所、学校等、他機関と連携し情報やコミュニケーション確保の支援を行っている。</p> <p><input type="checkbox"/> 〇</p>
【コメント】	
精神疾患のある方について、同意を得て主治医より病状聴取を行い日々の支援に役立てると共に、必要に応じて通院同行や服薬管理支援を行っている。また作業所等の就労先とのカンファレンスにより連携を図っている。	
(9) 就労支援	
①	<p>A26 母親の職業能力開発や就労支援を適切に行っている。</p> <p><input type="radio"/> a</p> <p><input type="checkbox"/> 母親の心身の状況や能力・適性・経験・希望に配慮した支援を行っている。</p> <p><input type="checkbox"/> 〇</p> <p><input type="checkbox"/> 資格取得や能力開発のための情報提供や支援を行っている。</p> <p><input type="checkbox"/> 〇</p> <p><input type="checkbox"/> 公共職業安定所以外にも、ハローワークや母子家庭等就業自立支援センター等、様々な機関との連携や調整、必要に応じて、同行や職場開拓等の支援を行っている。</p> <p><input type="checkbox"/> 〇</p> <p><input type="checkbox"/> 母親が安心して就労できるように補完保育(残業や休日出勤時の保育等)、病後児保育、学童保育などを行っている。</p> <p><input type="checkbox"/> 〇</p>
【コメント】	
母親の心身の状況に応じ資格取得や能力開発のための情報提供や、ハローワークへの同行支援を行い、自立に向けた支援が行われている。また補完保育や病後児保育の実施、施設内学童保育を実施している。	
②	<p>A27 就労継続が困難な母親への支援を行い、必要に応じて職場等との関係調整を行っている。</p> <p><input type="radio"/> a</p> <p><input type="checkbox"/> 職場環境、人間関係に関する相談や助言など、個々に対応した幅広い支援を行っている。</p> <p><input type="checkbox"/> 〇</p> <p><input type="checkbox"/> 母親が望む場合、就労継続のために職場との関係調整を行っている。</p> <p><input type="checkbox"/> 〇</p> <p><input type="checkbox"/> 障害がある場合や外国人の母親の場合、その心身等の状態や意向に配慮しながら、就労の継続に向けての支援を行っている。</p> <p><input type="checkbox"/> 〇</p> <p><input type="checkbox"/> 就労継続が困難な母親を積極的に受け入れている。</p> <p><input type="checkbox"/> 〇</p> <p><input type="checkbox"/> 必要に応じて福祉的就労の活用を図っている。</p> <p><input type="checkbox"/> 〇</p>
【コメント】	
「就労が困難な母親への支援に対するマニュアル」に基づき、個々に対応した幅広い支援を行っている。	

(10) スーパービジョン体制

①	A28 スーパービジョンの体制を確立し、職員の専門性や施設の組織力の向上に取り組んでいる。	a
	<input type="checkbox"/> スーパーバイザーを配置し、いつでも相談できる体制を確立している。	○
	<input type="checkbox"/> 職員に対するスーパービジョンを定例的に行い、職員がひとりで問題を抱え込まないように、スーパーバイザーなどを通じて、組織としての働きかけをしている。	○
	<input type="checkbox"/> スーパーバイザー以外でも職員相互が評価し、助言し合うことを通じて、職員一人ひとりが支援技術を向上させ、施設全体の支援の質を向上させるような取組をしている。	○
	<input type="checkbox"/> スーパーバイザーは、職員からの信頼が得られるよう、研修に参加するなど質の向上に努めている。	○
	<input type="checkbox"/> 国が定める基幹的職員を設置している。	○

【コメント】

基幹的職員である主任支援員が母子支援員、児童指導員に対しそれぞれ週1回のスーパービジョンを行い定期的な振り返りも行っている。月1回、大学から講師を招きケース検討会を実施し支援の質の向上に努めている。